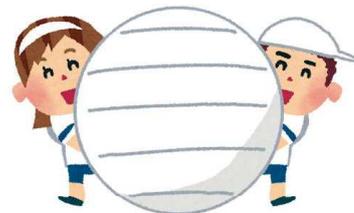


応援ありがとうございました!! 頑張った！運動会



11月9日（土）令和6年度 鳥之郷小学校運動会では、たくさんの皆様のご参観、ありがとうございました。絶好の運動会日和となった当日、皆様のご声援をいただきながら運動会が実施できましたことに、心より感謝申し上げます。

今年度、熱中症対策等への配慮から、はじめての11月開催となりました。結果的には、季節はずれとも言える十分な日差しがある中、寒さの心配をせずに実施することができ、安堵しましたが、太田市全体として、今後も実施時期等の検証を行っていく方向です。何より、子どもたちの全力の競技や表現、団対抗のリレーや綱引きまで、予定のプログラムを全て実施し、ご覧いただけましたことに感謝申し上げます。



児童会が中心となって準備し、当日は《気炎万丈 勝利をつかめ》のスローガンのもと、高学年がよく頑張りました。特に6年生の最高学年としての頑張りが素晴らしく、元気な声出し、はつらつとした動きで下学年をリードする姿は立派なものでした。5年生以下の子どもたちが『今度はあんな風に頑張りたいな』というロールモデルとして記憶したことと思います。

1・2年生が笑顔で踊った『らっしょい わっしょい！江戸の華(とりっこver.)』、体全部を使って行った『大玉ごろごろ』。3・4年生が軽快に格好よく踊った『勇者～その先の未来へ～』。協力の力を見せた遊競技『ゴーゴータイフーン』。

5・6年生の団対抗競技『未来へのかけ橋』では、応援の声がひととき高くなりました。そして、力強さと迫力を魅せた『大漁～鳥小ソーラン2024～』。会場の空気をきりっと引き締める最高の表現でした。



また、団対抗リレーでの代表選手の頑張りと、全ての団が等しく勝ち点を獲得した『団対抗 綱引き』それに向けた応援にも、子どもたちがそれぞれに自分の思いを込めて臨んでいました。一人一人の『笑顔』が輝き、大成功の運動会となりました。

前日から準備等を快くお手伝いいただいたPTA役員の皆様やボランティアの皆様、積極的なご協力をいただいた大勢の保護者の皆様に深く感謝申し上げます。

上げます。大変お世話になりました。

ちなみに、『読書運動会』も、大変な盛り上がりを見せました。校庭へと駆け出していく元気な姿と同様、図書室への足取りも軽やかな児童が増えています。読書が好きな子どもが育っています。



11月13日(水) 2年生 農業体験(芋ほり)

6月の初旬に植え付けたさつまいもが収穫の時期を迎え、2年生がスクールバスを利用して、強戸農園に芋ほりに出かけました。子ども達は気合い十分で出かけに行き、そして満足げな表情で帰校してきました。『たくさんとれた』『一つのつるに、いっぱいお芋がついたよ』とたくさん報告もありました。『疲れたあ…。』という言葉の中には、本気で頑張ったんだよという言外の思いがあった様子でした。収穫したさつまいもは、2年生の教室前の廊下で追熟し、旨味・甘味を加えています。



収穫したさつまいも

11月15日(金) 1年生 校外学習(桐生が岡遊園地・動物園)

前日から朝方にかけての雨が心配でしたが、出発の際は雨もあがり、1年生は皆元気に桐生が岡遊園地・動物園への校外学習に出かけました。小学校入学前にも行ったことのある子は多かったことと思いますが、友達と協力して行動する学習としての遊園地や動物園は初めてです。『乗り物に乗れないお友達がいたらどうするか』『時間を守って集合するにはどうすればよいか』など、経験値を得る貴重な機会となりました。いろいろな動物にも出会い、笑顔で楽しく過ごせました。班別行動をする際の班長や時計係などの役割も、一人一人がよく頑張りました。

11月19日(火) 2年生 校外学習(向井千秋記念子ども科学館)

2年生は、館林市にある向井千秋記念子ども科学館へ校外学習に行きました。15日に1年生が出かけていますので、2年生は口々に『火曜日は(わたしたちが校外学習に)行くんだよ』『早く行きたいな』と言って楽しみにしていました。宇宙への興味関心を入口として、科学に対する好奇心を高めてくれる『子ども科学館』です。《体験》《観察》《応用》と分かれたブースごとに見たり触ったりする経験をしてきたことは、楽しい思い出となりました。日本人女性として初の宇宙飛行士、向井千秋さんが群馬の方であることは誇りですね。

『学校ISO』に取り組んでいます。

11月20日(水) 学校ISO 太田市の監査を受けました。



太田市で取り組んでいる『学校ISO』は、環境改善及び環境活動を児童と教職員が共同で行うものです(環境マネジメントシステムの国際規格、ISO14001の考え方を活用しています)。ゴミを出す量の削減に取り組んでいるか、給食調理の際やプールの排水などで、環境汚染につながる廃液などを出していないか等、学校全体の管理状況について市の監査を定期的に受けます。学校として、児童の環境教育が適正に推進されているか、という点も大きな監査項目です。

鳥小は、自分たちにできる、地球にやさしい取組をすることが、環境保全につながることを学習しています。水や紙を大切に使うことや、食べ残しをしないようにすることなど、身近な生活の中でのちょっとした気遣いが大事であることを、子ども達は経験の中から知っています。各教科の学習だけでなく、愛鳥の精神で周囲の環境や鳥の生態について知ること・米作りから得る様々な知恵を生活に活かしていこうとすることなども、環境教育につながります。これらの学びや行動を、自分なりの持続可能な取組としていくことが課題です。

あらためてのお知らせですが、今後も、この『学校ISO』の取組を手段として、鳥小の環境教育を充実させていきます。大人も子どもも等しく『あとの世代の人に苦勞させないようにすること』を考えていけると良いですね。